

平成元年、私は28歳の時に「志学塾」を開業した。当時、もう一人と覚悟し書家に向かって大学を卒業した後も税理士を目指し、仕事と受験という二足のわらじを履いていた状態だった。働きながらの目標達

た。両親はきっと反対するだけだった。すると意外にも父は「塾はいいね」と快諾。母は父の傍らで「きっと人助けになるよ」とほほ笑んだ。

教育は「人づくり」だと思つていたが、この時、人づくりではなく「人助け」なんだと心に刻んだ。

開業早々、10人余りが入塾した。しかし、「円の面積は?」と尋ねると「180度」と返ってきた。「4×7」は答えられるが「7×4」で聞くと「最近使ってなくて」などと間違えたり…。

保護者からは「数学の応用力をつけてもらいたい」などの要望も出たが、その前に基礎からという塾生ばかりで楽しくスタートした。以来30年、おかげさまで2500人を越える卒塾生を送り出した。

成にはあと数年はかかると考え、長男が2歳になったこともあり、一念発起して開業を決心した。

く、親にすがるしかなかつた。

# 私見倉 Thursday

## 教育は人助け



志学塾塾長  
畠山篤

はたやま・あつし  
1960年、八戸市生まれ。明治学院大卒。学塾を運営しながら、全国各地で講演。「勉強部活」を提唱、後学習支援などに関与する。全国学習塾協会理事。

# 「やればできる」を学ばせたい

張った。「全国? では今日から何をやろうか?」と続けたら、「まず一流の選手のDVを見ながらお父さんにポイントを教えてもら…」と。私はあぜんとし、「まずは上級生に勝てるの?」と聞いちゃうと「えっ、そればかり」「…でもやればできる」と話し、理解を助けた。

目標とは、願うこと、望むことから始めよう。そして、仲間と比べ、自分を見直すこと

で、知恵と教訓が得られる

ことで、知恵と教訓が得られる

ところから始めよう。そして、仲間と比べ、自分を見直すこと

で、知恵と教訓が得られる

## 優生保護法

# 教済法案作成本格化へ

## 不妊手術、おわび焦点

旧優生保護法(1948~96年)下の障害者への

不妊手術問題で、超党派議員連盟は7日、被

救済に関する議員立法骨子を取りまとめた。「反省とおわび」を明記し、手術記録のない人にも一時金

を支給。旧法規定外の手術を施された人も対象とし

た。ただ、国の責任や旧法の違憲性、対象者への個

別通知の有無には触れていない。自民、公明両党の

合同ワーキングチーム(WWT)の骨子とほぼ同内容

で、これらを土台に与野党は年内の法案一本化へ調整を本格化させる。

与野党の有志でつくる超党派議連の骨子は、前文に

「旧法の存在を背景に、特定の疾病や障害を理由とし

て多くの方が心身に多く

な苦痛を受けてきたことに

対し、われわれは率直に反

省し、深くおわびする」と

明記。「全ての国民が相互に人格と個性を尊重し合

## 米軍三沢司令官

### 情報提供し 理解得たい

#### 着任会見

に関する診断書などで判断。放射線照射や旧法規定外の手術を施された人も対象とする。

被害認定は厚生労働省に設置する専門家による認定審査会が担当。一時金の金額は諸外国の例を参考に検討を続ける。

制度の周知は、相談支援窓口の設置や、障害者支援施設を通じた申請呼び掛けなど適切に実施するこ

とに、米軍三沢基地司令官になつたクリストファー・ストルーヴィア佐(44)が7日、同基地で着任会見を開き、同墓地で着任会見を開き、「この墓地では良好な日米交流が続いている。訓練な

米軍三沢基地司令官には、前文に「旧法の存在を背景に、特定の疾病や障害を理由とし

て、同大佐は、韓国群山基地第8作戦群司令からの転任。三沢基地での勤務は3度目となる。

16戦闘機の燃料タンク投棄会見では、2月に小川原湖で発生した同基地所属F-16戦闘機の燃料タンク投棄

民放連会長

民放連会長

「厳しさ増す」

民放全国大会

全国の民放関係者が集ま

る第66回「民間放送全国大

会」が7日、東京都内で開

かれ、民放連の大久保好男

会見で抱負を語るト

リストファー・ストルーヴィア佐=7日、

三沢基地